

## 研究員紹介

**マルリサ・アユ・トゥリシア** アジア共創教育研究機構 環境部門 研究員



この度、名古屋大学で研究員として勤務できることになり、大変光栄です。私の研究は、インドネシアの小規模サゴヤシ産業におけるバリューチェーンに焦点を当てたものです。日本で大学院に入学する前には、5年強にわたり、インドネシア政府機関やIKEA、KRAFT、ジョンソン&ジョンソン、アブラヤシプランテーションなどの民間セクターの組織・地域力エンパワメントにかかわっていました。これまでの経験は、地方のコミュニティ支援に役立つものと考えています。将来、農業の持続的開発に向けた産官学地域の橋渡し役となるべく、農国センターの活動から多くを学びたいと思います。

**略歴** 1987年インドネシア・ジャカルタ生まれ。ガジャマダ大学卒業、Plant International、GIZ GmbH、UNDPでの勤務の後に愛媛大学大学院にて博士(学術)取得。インドネシア海洋・気候サポートーUSAIDプロジェクトのフィールド研究員としての経験も有する。

## 外国人客員准教授紹介

**リルス・A. キンセン** 農学国際教育協力研究センター 外国人客員研究員



本年の10月から11月まで、サバティカル期間を農国センターで受け入れていただき、誠に有難うございました。滞在中には、農国センターオープンセミナーで、インドネシア・ベンクルー州ムコムコにおける灌漑水田地域の農業生産動向について話題提供させていただきましたが、その他の現在の研究トピックとしては、インドネシアの小島におけるマリントゥリズムが地方のコミュニティに与えるインパクトに関して調査をしています。ジャカルタの沖に浮かぶプロウスリブ諸島のバリという島が調査サイトです。この度は、近年の調査研究の分析を進め、取りまとめる上で貴重な時間を過ごさせていただきました。大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

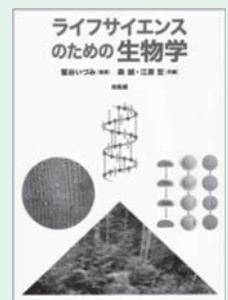
**略歴** インドネシア・ボゴール農科大学卒業、カナダ・ゲルフ大学にて修士、インドネシア大学にて博士の学位を取得。ボゴール農科大学水産学部水産社会経済学科を経て、1998年より同大学人間生態学部コミュニケーション・コミュニティ開発学科にて講師。

## 出版物の紹介

「ライフサイエンスのための生物学」 鷲谷いづみ監修・森誠・江原宏共編、培風館

2017年 9月25日初版第3刷発行、ISBN4-563-07815-8、定価3,456円

理学部生物学科や農学部など、生物系学生のための生物学入門の教科書で、細胞生物学、植物、動物、生態の4編に分けて、生物学全般の基礎をバランスよく平易に解説しました。著者それぞれの専門分野に依拠する解説をもとに全体を丁寧に調整し、カラー図版と写真を数多く用い、興味ある話題をコラムとして数多く収録するなど、学生が興味をもって学べるように工夫しています。名古屋大学からは編者の他に、谷口光隆教授、川北一人教授が執筆しています。



## オープンセミナー (2017年6月～2017年11月)

回数	日時	テーマ	講師	所属
2017年度 第1回	8月31日	インドネシアにおける稲作の安定化に向けて — 気候変動に対する取り組み —	アフマッド・ジュナエディ	インドネシア・ボゴール農科大学 農学部 准教授
第2回	11月6日	インドネシア・ベンクルー州ムコムコにおける 灌漑水田地域の農業生産動向	リルス・A・キンセン	インドネシア・ボゴール農科大学 人間生態学部 講師